

# やさいレポート (令和5年12月号)



# はくさい



発行日：令和5年12月8日

## 1. 卸売価格の動向

○41 円/kg (12月5日)

➢ 平年比：108%

○12月の価格見通し

前半：安値水準で推移

後半：平年並みで推移

(農林水産省、東京都中央卸売市場)

## 2. 小売価格の動向

○189 円/kg (11月全国平均)

➢ 前月比：77%、平年比：117%

➢ 東京：133 円 (1/4 玉)

➢ 大阪：125 円 (1/4 玉)

○特売店舗数/調査店舗数

➢ 東京：8/20 (前月 4/20)

➢ 大阪：5/10 (前月 5/10)

(機構調べ)

## 3. 家計消費動向

○318g/人 (10月全国平均)

➢ 前月比：224%

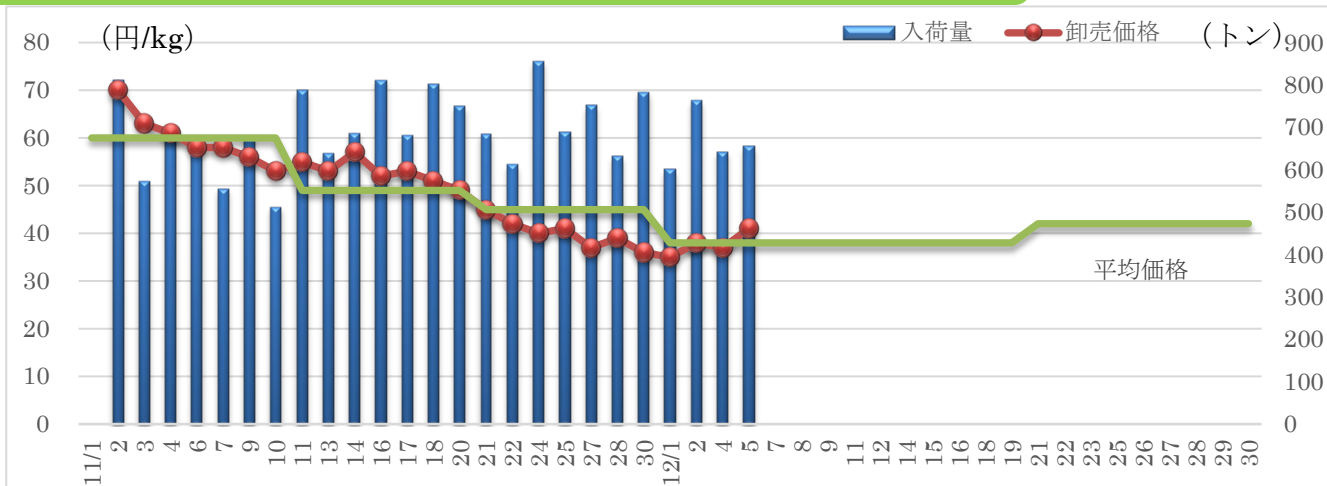
➢ 前年同月比：88%

○2,872g/人 (2022年年間)

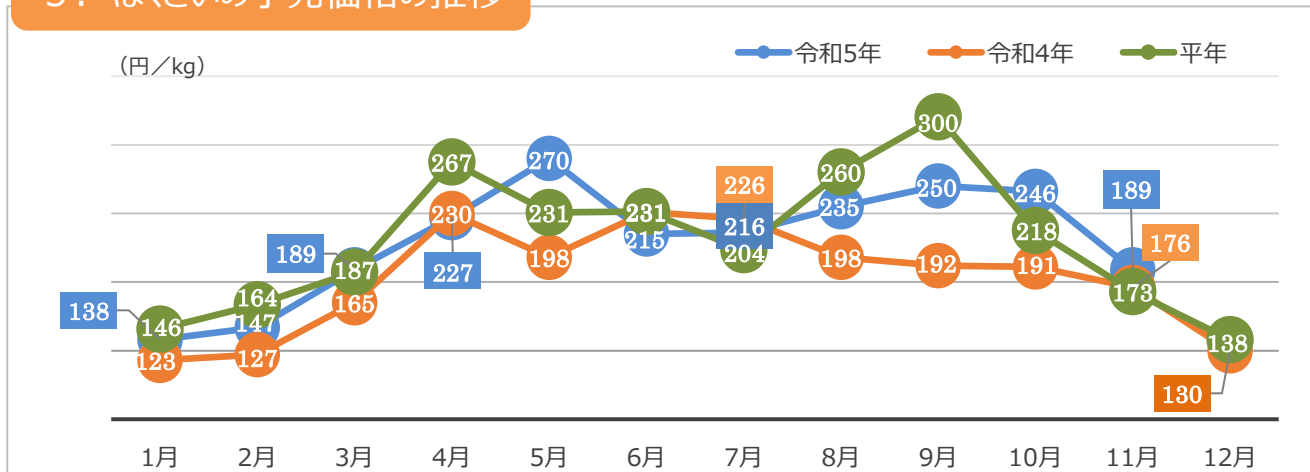
➢ 前年比：98%

(総務省統計局家計調査)

## 4. はくさいの卸売価格と数量の推移 (東京都中央卸売市場)



## 5. はくさいの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
茨城県常総ひかり (11/13)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並みを見込む
愛知県豊橋 (11/13)	減少	やや良	平年並み	-
三重県四日市、菰野 (11/20)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
兵庫県淡路島 (10/17)	前年並み	平年並みを見込む	平年並み	平年並みを見込む
和歌山県紀の川西部 (10/27)	増加	-	平年並み	-
大分県日田 (10/30)	前年並み	やや不良	遅い	遅い

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



茨城県常総ひかり：圃場の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (12/09~01/05)

		週別の天候		
12/09~ 12/15	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、低気圧や前線の影響を受けにくく、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
	12/16~ 12/22	北日本日本海側では、冬型の気圧配置が強いため、平年に比べ曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、冬型の気圧配置が強いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、低気圧や前線の影響を受けやすく、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。 沖縄・奄美では、寒気の影響を受けやすく、平年に比べ曇りや雨の日が多いでしょう。		
12/23~ 01/05	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
		平均気温 (1か月)	降水量 (1か月)	日照時間 (1か月)
北日本	日本海側	低50 並30 高20% 低い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み
	太平洋側	低50 並30 高20% 低い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並30 多30% 平年並か少ない見込み
東日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並40 多40% 平年並か多い見込み	少40 並40 多20% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
西日本	日本海側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み
	太平洋側	低20 並30 高50% 高い見込み	少20 並30 多50% 多い見込み	少50 並30 多20% 少ない見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (はくさい)

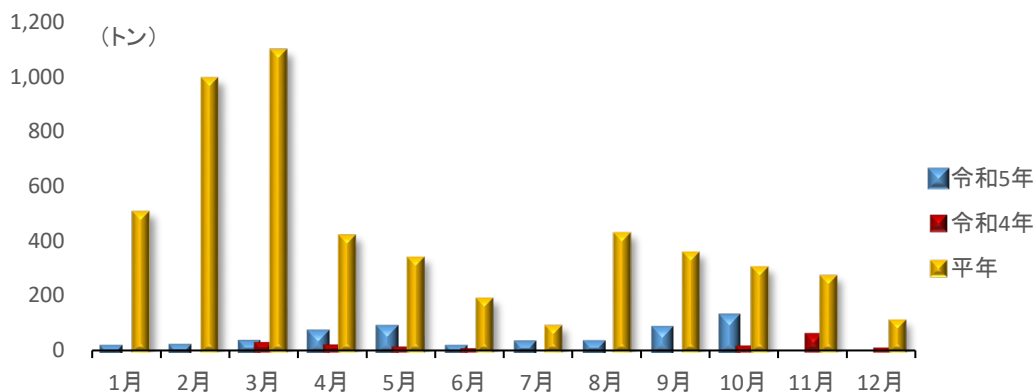
○119 t (10月輸入量)

➤ 前年同月比：791%

○輸入先国ベスト3

全量中国からの輸入

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

1 1月は、高温干ばつの影響を受けた長野産が終盤となる中、高温干ばつによる生育遅れから回復してきた茨城産などの入荷量が増加したことで、潤沢な市場入荷量となり、平年を上回っていた価格は下げ基調になり、下旬には平年を下回りました。

1 2月は、茨城産、兵庫産などの入荷量が増加し、引き続き潤沢な市場入荷量となることから、価格は前半が平年を下回るものの、後半には需要期に入ることから平年並みになる見込みです。

本データは全てベジ探から入手できます。

詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793